

## 「DENZAI CUP」初代王者は福西電機株式会社！

日本初！全国協同組合内のeスポーツバトルは大激戦の連続！！

(使用タイトル：ストリートファイター6)



全日電材連・eスポーツ全国大会「DENZAI CUP」～ROUND1～が2月3日（土）、午前11時10分より共創イノベーション・ラボ（東京都千代田区）にて開催され、福西電機株式会社（大阪府大阪市。大阪府電設資材卸業協同組合。出場は東日本（東京都港区））が初代王者の栄冠を勝ち取った。

日本の電気設備資材（略して、電材（DENZAI））卸会社による協同組合の全国組織、全日本電設資材卸業協同組合連合会（略称：全日電材連）に加盟する約500社の中から参加した8社による独自のトーナメント方式を勝ち抜き、見事な優勝を手にした。（詳細やアーカイブ動画は、全日電材連ホームページ「eスポーツ大会」ページを参照下さい。<https://www.jeda.or.jp/esports>）



(優勝した福西電機株式会社。左から梶浦選手、西本選手、内海選手、山本選手)

## 予選トーナメント 1 回戦 4 試合中 3 試合が延長戦にもつれ込む大激戦

予選トーナメント 1 回戦は、BO 1（ベストオブワン（2 ROUND 先勝）1 本勝負）。先鋒（10 P）・中堅（10 P）・大将戦（20 P）（延長戦は 5 P）で対戦。大将戦では、会社を代表する本物の大将同士の一戦を行った。

開幕戦は、杉本電機産業株式会社（神奈川県川崎市。神奈川県電設資材卸業協同組合）と福西電機株式会社の一戦。先鋒戦、中堅戦共に勝利したのは杉本電機産業。追い込まれた大将戦で福西電機の西本選手（商環境第二営業所・所長）がストレートで浦田選手（設備システム営業所・所長）を倒し、延長戦に突入。延長戦では福西電機・内海選手が勝利し、25-20（ROUND5-4）と、結果的に優勝した福西電機だったが辛勝のスタートであった。

第 2 試合の岡田電気産業株式会社（福島県いわき市。東北電設資材卸業協同組合。出場は東京都立川市。）と山陰パナソニック（島根県出雲市。山陰電設資材卸業協同組合）の一戦も最後の最後までもつれた大激戦。（20-25（ROUND4-6））先鋒戦・中堅戦共に勝利した山陰パナソニックだったが、大将戦では本郷選手（立川営業所・所長）が、山陰パナソニック・渡部幸太郎代表取締役社長を撃破。延長戦に突入し、中堅戦で健闘した岡田電気産業の菅野選手と山陰パナソニック・堀田選手の一戦は、1-1 の最終 ROUND 対決までもつれ、残体力わずかの差で堀田選手が制し、今大会 1 番の激闘となった。

第 3 試合は関連会社同士の明電産業株式会社（栃木県宇都宮市。北関東電設資材卸業協同組合）と牛山電工株式会社（埼玉県川越市。埼玉電設資材卸商協同組合）の一戦。先鋒戦は明電産業、中堅戦は牛山電工が勝利し、社長同士対決となった大将戦に勝敗の全てが託され、牛山電工・吉田忠将代表取締役社長が明電産業・毛塚武久代表取締役社長を下し、接戦を制した。（10-30（ROUND2-4））



（予選第 3 試合は本物の大将戦となった社長対決。明電産業・毛塚社長（左）VS 牛山電工・吉田社長（右））

第 4 試合は小島電機工業株式会社（東京都北区。東京電設資材卸業協同組合）と不二電機株式会社（大阪府大阪市。大阪府電設資材卸業協同組合）の一戦。この一戦も大激戦となり、ROUND 勝利数は同点のがっぶり四つな対戦となった。（20-25（ROUND4-4））先鋒戦、中堅戦共に、ストレートで勝利した小島電機工業だったが、不二電機・野村知秀選手が大奮闘。大将戦・延長戦共にストレートの 4 連続 ROUND を制して、大逆転勝利を収め、予選決勝へと駒を進めた。

ブロック優勝は、山陰パナソニック株式会社（島根県出雲市）、牛山電工株式会社（埼玉県川越市）



大会開催発起人・山陰パナソニック・渡部社長も参戦



インタビューを受ける牛山電工・齊藤選手

予選トーナメント決勝戦に移り、以降、下剋上決勝トーナメントの準決勝までは、B O 1（ベストオブワン（3 R O U N D先勝）1本勝負）に変更し、両チーム3名を選出して、2ゲームを先勝したチームを勝利とし、勝利が確定した時点で試合終了する星取戦での対戦とした。

まず、JEDA ブロック予選決勝は、結果的に最終決戦で戦う事になる、福西電機と山陰パナソニックの一戦。山陰パナソニックの田村選手、村本選手が怒濤の強さを見せ、2 - 0（ROUND2-6）と2連勝で準決勝進出。この時点で福西電機の優勝予想は誰もが予想だにできなかった。

続いて、WAKU WAKU ブロック決勝は、牛山電工と不二電機の一戦。1st バトルは不二電機・野村選手が予選1回戦に続いて個人3連勝を飾るも、2nd、3rd バトル共に牛山電工が逆転のストレート6連続 R O U N D 勝利で2 - 1（ROUND7-3）。牛山電工が見事ブロック優勝を果たして、準決勝進出を決めた。

### 下剋上決勝トーナメントも1回戦から大熱戦！

予選トーナメントの結果を経て、下剋上決勝トーナメントの組み合わせが決まり、負けたら敗退となる1回戦がスタートしたが、この2試合も大熱戦となった。

第1試合は明電産業と杉本電機産業の一戦。もつれにもつれて全13ROUNDが行われ、1 - 2（ROUND6-7）で辛くも杉本電機産業が勝利。

第2試合は岡田電気産業と小島電機工業の一戦。商圏が重なり、商売でもバチバチのライバル同士である両者の対決も3rdバトルまでもつれ、2 - 1（ROUND8-6）で岡田電気産業が準々決勝進出を決めた。

準々決勝からは、予選を勝ち抜いたチームから先に1stバトルの選手を決定し、その後は前のバトルを勝利したチームから選手を決定するルールを用いて、下剋上が起きやすい環境の中で戦って頂いた。

準々決勝第1試合は、不二電機と杉本電機産業が対戦。杉本電機産業は、予選1回戦から絶好調の千葉選手が個人3連勝を決める勝利。後が無くなった不二電機は個人3連勝中の野村選手を選出して、巻き返しを図るも、杉本電機産業・鈴木選手に抑え込まれ、0 - 2（ROUND2-6）、杉本電機産業が準決勝を決めた。

準々決勝第2試合は、福西電機と岡田電気産業の一戦。予選2試合、苦戦していた福西電機がここから本領発揮。個人2連敗中だった山本選手が3ROUND連続勝利を決め、続いて、今大会でMVP級の活躍をした内海選手が「予選は、緊張と難しくやろうとし過ぎてしまって上手く対応が出来なかったので、決勝トーナメントからは設定を簡単にして挑もうと開き直った事が好転した。」と話した通り、3連続ROUND勝利を決め、パーフェクト勝利で準決勝へ進出した。(2-0 (ROUND6-0))

佳境に迫った準決勝第1試合。JEDAブロック優勝の山陰パナソニックが登場し、下剋上決勝トーナメント2連勝で勢いづく杉本電機産業が対戦。社内でeスポーツ部を立ち上げ、今大会の優勝を目指す山陰パナソニックは田村、村本両選手が圧倒的勝利を収め、2-0 (ROUND6-0)パーフェクト勝利で、決勝進出を果たした。

準決勝第2試合は、WAKU WAKUブロック優勝の牛山電工が登場。福西電機との一戦は、1stラウンド中にトラブル発生し、集中が途切れた福西電機・山本選手がROUND2-3で敗退。続く2ndバトルでは、福西電機・内海選手がストレート勝利で勝敗を五分に戻し、3rdバトルへ。ここで、運営は牛山電工と話し合いを行い、1stバトルを戦った福西電機の山本選手の再出場を認め、3rdバトルは予選決勝でストレート勝ちを収めた牛山電工・齊藤選手との対戦となった。両者共にレベルの高い戦いを繰り広げるも、蘇った命は福西電機に流れをもたらし、1-2 (ROUND2-3)、福西電機・山本選手が勝利を収め、決勝進出を果たした。

最終決戦を前に、時間が空いた事から、急遽、BO1 ((2ROUND先勝)1本勝負)に戻して、順位決定戦を行い、7・8位決定戦は明電産業が、5・6位決定戦は不二電機が、3・4位決定戦は杉本電機産業が勝利を収めた。なお、杉本電機産業は、この試合で鈴田選手が勝利を収めた事により、唯一の参加者全員勝利を収めた。

下剋上決勝トーナメントから覚醒した福西電機・内海選手はもう誰も止められなかった



(圧倒的勝利記録を残した福西電機・内海選手)

午後3時40分。最終決戦を開始。最終決戦は勝ち抜き戦。対戦方式は、BO1（ベストオブワン（3ROUND先勝）1本勝負）。両チーム、1stバトルの選手を記載したオーダー表を提出頂き、対戦後は、勝者プレイヤーが残り、敗者プレイヤーは交代。敗者プレイヤーが3名出た時点で試合決着。

1stバトル、山陰パナソニックは、不動の核弾頭・田村選手。福西電機は準決勝で蘇った山本選手。ROUND1・2共に取り合うも、3・4ROUNDで連続勝利を収めた田村選手の山陰パナソニックがまず1勝。

福西電機は山本選手に代わって、内海選手が登場。準々決勝から覚醒し、6連続ROUND勝利中の内海選手は最終決戦に入っても無双状態だった。

2ndバトル、内海選手が予選決勝で戦って敗退した、個人4連勝中と波に乗る田村選手をリベンジで、息の根を止め、3rdバトルでは、予選1回戦から8連続ROUND勝利中だった村本選手との対戦は、今大会最高の盛り上がりを見せ、圧倒勝利。後が無くなった山陰パナソニックは堀田選手に全てを賭けるも、覚醒した内海選手をもう誰も止める事は出来なかった。

優勝候補と予想された山陰パナソニックの強者3名を一気に投げ倒し、準々決勝から続く個人勝利5連勝を決めて、見事、福西電機を「DENZAI CUP」の栄えある初代王者に導いた。

### 電材業界は人間力の高い社員が多い

大会参加にあたり、各社共に仕事と両立させながら練習に励み、会社によっては、業務後に会議室を使用して練習を行ったり、社内で予選を行い、社内最強メンバーでご参加頂いた会社もあった。

電材業界内でも話題騒然となり、協賛メーカーや得意先である電気工事会社からも大きな反響を頂き、電材業界のeスポーツによるコミュニケーションは今後、大きく発展していくと考えられる。日本社会の先駆けとなり、新たな働き方改革を提示出来たと感じる。



また、大会中、一際目立ったのは、出場全選手の礼儀正しさ。熱戦を繰り広げた後にも関わらず、ゲーム後は両者共に笑顔で握手を交わし、スポーツマンシップで対戦頂いた。また、大会後に立食懇親会を行ったが、参加者全員が自ら動いて準備・片付けにご協力頂いた。参加者全員の人間力の高さを伺え、各社の行き届いた社員教育のレベルの高さを痛感した。

第2回も開催する方向であり、詳細決定次第、全日電材連ホームページにて掲載し、さらなる発展を目指していく。



オブザーバー・小島寿之会長



開幕戦は杉本電機産業・千葉選手（左）の勝利！



今大会 1 番の大熱戦。岡田電気産業・菅野選手（左）  
と山陰パナソニック・堀田選手（右）の対戦



予選 1 回戦・先鋒戦を制した明電産業・金野選手



不二電機の大黒柱、ラウンド勝率 7 割の野村選手

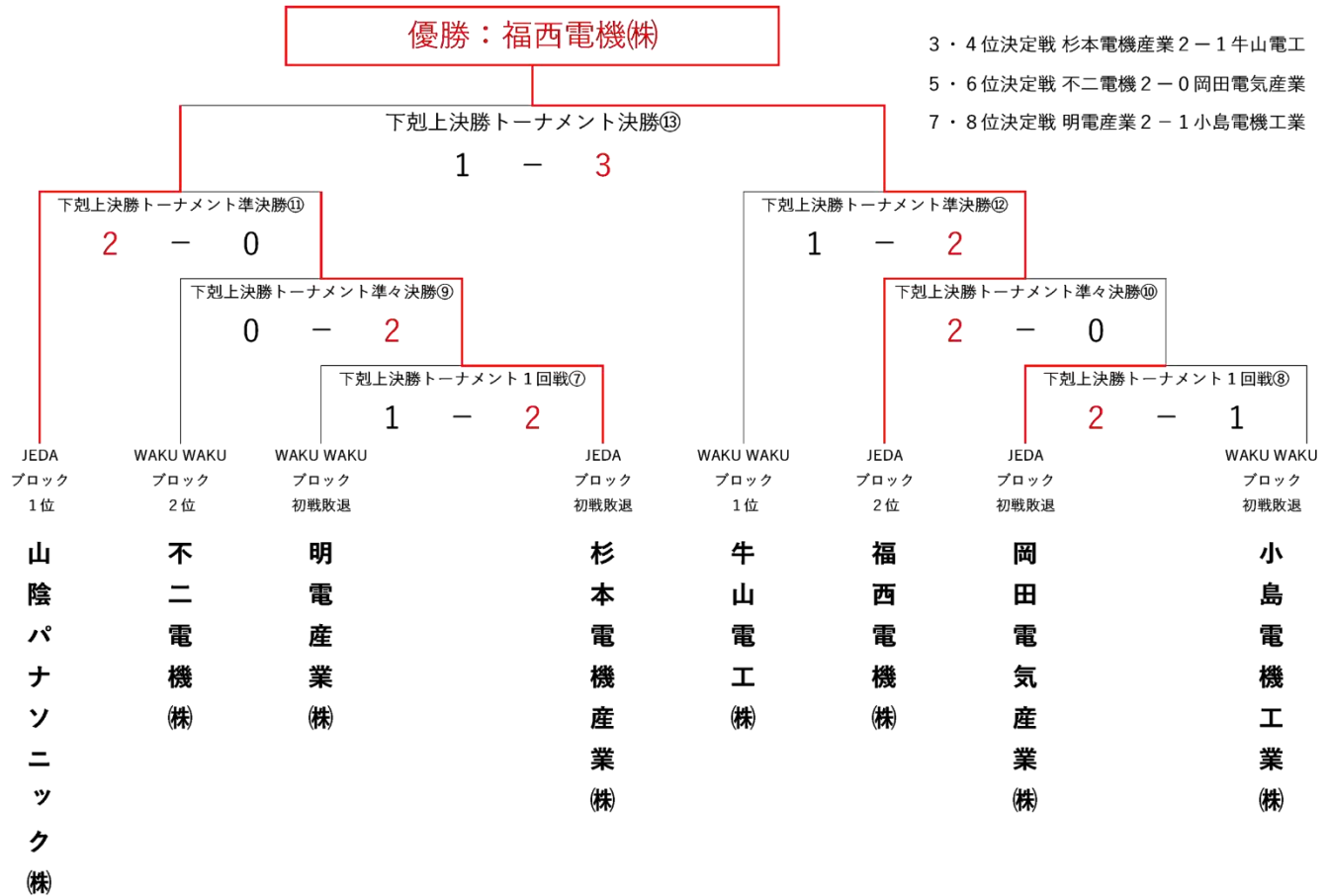


小島電機工業を引っ張る若きエース・池岡選手

全日電材連・eスポーツ全国大会 「DENZAI CUP」～ROUND 1～ (2024.2.3)

下剋上決勝トーナメント結果

※下剋上決勝トーナメントの得点は、2戦先勝方式。勝利数の記載。



全日電材連・eスポーツ全国大会 「DENZAI CUP」～ROUND 1～ (2024.2.3)

予選トーナメント結果

予選トーナメント決勝戦の得点は、2戦先勝方式。勝利数の記載。

予選トーナメント1回戦の得点は、先鋒 (10P)、中堅 (10P)、大将 (20P)、延長 (5P) の獲得数の掲載。

